

福祉にいがた



新潟県社会福祉協議会  
新潟県長寿社会振興センター  
総合情報誌

# オアシス21

No.107

令和6(2024)年  
12月

福祉にいがた 第868号(8~12面)

## CONTENTS

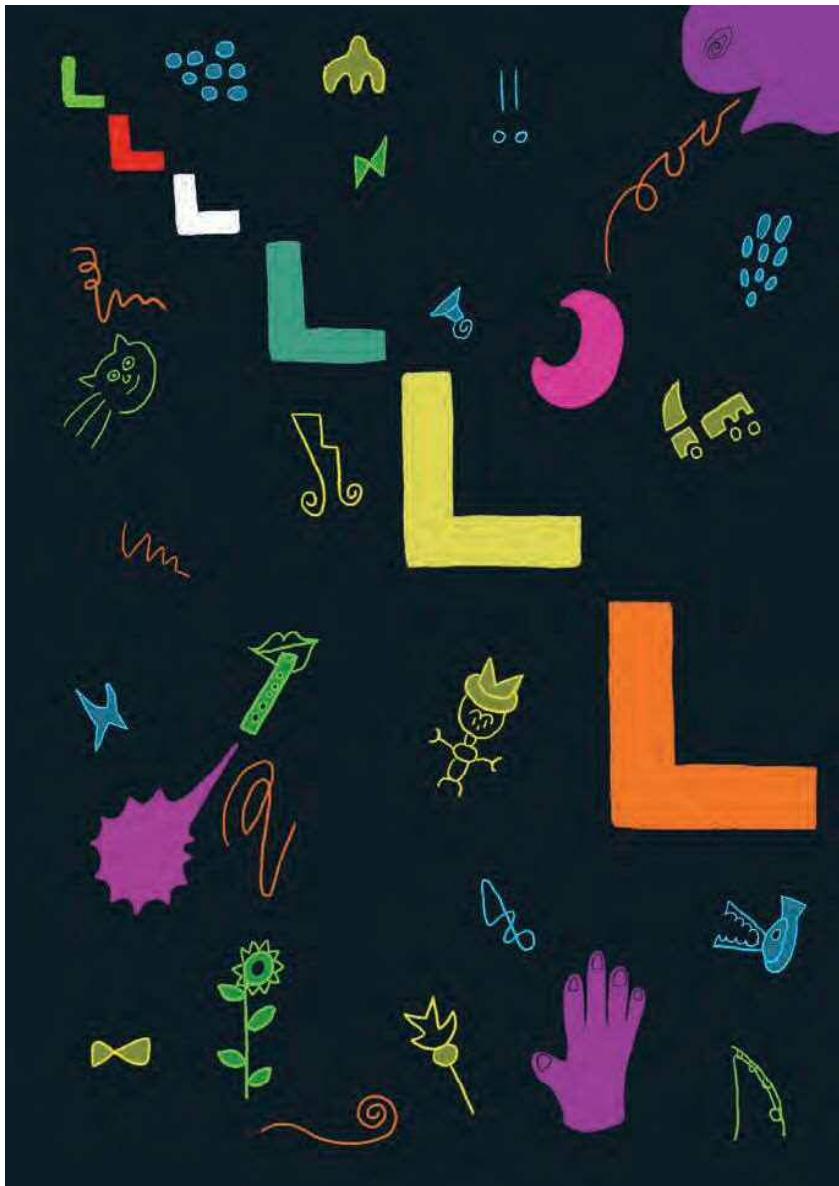
### 巻頭特集

ねんりん。ピック鳥取——県選手団が奮闘

(2・3面)

●新発田で県民福祉大会

●eスポーツ楽しんで交流



（作者一言）「L」を6個並べて、ポップなイメージに仕上げました  
絵 「エル」 作・久保田 学（聖籠町）

# ねんりんピックはばたけ鳥取2024

## 県選手団 砂丘に交流の足跡

開会式会場で「新潟県」のプラカードを掲げ行進する地元高校生に拍手する新潟県選手団



### 卓球 鮮やか準優勝

### -88歳でマラソン- 目黒さん(長岡)に高齢者賞



準優勝を果たした「卓球」の新潟県選抜チーム



新潟県選抜チームの熱戦の一こま

直径44ミリのラージボールを使う試合には6人で参戦（チーム8人）。県選抜チームは「県内トップ選手」を擁しており、決勝トーナメントで宮城、香川に順当勝ちした後、決勝では富山と対戦しました。

富山は新潟をしのぐほど  
の「ラージボール強豪県」  
は例年、秋の気候が落ち着いた頃に開催されますが、鳥取大会の開会式は大雨にたられました。体育馆での縮小開会式に参加できたのは、全国約9000人の選手のうち、1100人だけ。計14種目に出席する新潟県選手団の参加も100人のうち、2種目23約人にとどまりました。

天候は翌日から回復。県内19市町村で29種目が予定通り、行われました。

全国のシニアがスポーツなどを通じ交流する第36回「全国健康福祉祭とつとり大会」（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）咲かよう（砂丘に長寿と笑みの花）が10月19～22日、鳥取県内で開かれました。開会式は強い雨にたたられ、県民体育館で規模縮小して

の開催となりました。天候は翌日から回復し20～22日の3日間、県内全19市町村でスポーツ交流大会などを繰り広げ、県選手団の選手たちも熱戦の一方、全国の仲間と友情をはぐくみました。県選手団チームはスポーツ交流大会種目「卓球」で準優勝に輝きました。

スポーツ交流大会の卓球には全国から約70チームが参加。新潟県選手団の県選抜チーム（渡辺道明監督兼選手、長岡市）が見事、準優勝に輝きました。

ねんりんピックは年齢でも表彰します。県選手団ではマラソンの目黒誠二さん（88）＝長岡市＝に高齢者賞が贈られました。

ともいわれ、1勝3敗で苦杯をなめました。渡辺監督は「富山相手では仕方なかった。でも準優勝はよくやったと思う。2年後も再び、出場したい」と意欲的でした。

開会式  
体育館で

# 荒天なんの 闘魂熱く



## 県選手団 しなやかに粘り強く



eスポーツ



剣道



太極拳

### ねんりんピック鳥取2024 新潟県選手団の記録

10月19~22日

種目	チーム	成績
卓球	新潟県	第1次予選リーグ戦 2勝0敗(1位) 第2次予選リーグ戦(1位グループ) 2勝0敗(1位) 決勝トーナメント 2勝1敗【準優勝】
テニス	あんぱんマンズ (新潟県)	予選リーグ戦 2勝1敗(2位) 予選2位グループ決勝トーナメント出場 1回戦敗退
ソフトテニス	新潟県	予選リーグ戦 3勝0敗(1位) 予選1位グループ決勝トーナメント出場 ベスト16【優秀賞】
ソフトボール	糸魚川SBクラブ	交流大会トーナメント戦1回戦 新潟県 3-5 浜松市 交歓試合 新潟県 2-17 山梨県
ゲートボール	チーム桜 (上越)	予選リーグ 1勝2敗
	津南	予選リーグ 2勝1敗
	片貝クラブ (小千谷)	予選リーグ 3勝0敗 決勝トーナメント出場 1回戦敗退
ペタンク	新潟県	予選リーグ 1勝2敗

種目	チーム	成績
ゴルフ		【団体】 28位／56チーム 【個人】 65歳～69歳 橋口 勝彦(十日町市)30位／57人 70歳以上 三母 英二(新発田市)34位／94人 同 阿部 勉(柏崎市)37位／94人
マラソン		男子70歳以上 3キロ 熊谷 司伸(弥彦村)21位 男子70歳以上 3キロ 日黒 誠二(長岡市)23位
弓道	新潟県	一次予選 5中／20射 二次予選 1中／10射
剣道	新潟県	予選リーグ 0勝2敗
グラウンドゴルフ		▷ 64位 内山 純一(津南町) ▷ 113位 中澤 悅孝(津南町) ▷ 129位 根津 光吉(津南町) ▷ 203位 金子 哲也(十日町市)
ソフトバレーボール	ブル刈羽	予選リーグ 0勝2敗(3位) 順位別リーグ戦第3位グループ 2勝0敗 1位【優秀賞】
太極拳	フェニックス ながおか	12位／52チーム
eスポーツ	ピンクレディ (妙高)	予選リーグ 2勝2敗

## 3会場計138人卒業



新潟 埼上で一人一人に修了証書を授与=9月26日



長岡 晴れやかにみんな一緒に卒業写真=10月30日



上越 卒業生に石上学長が語り掛ける=10月15日

式の後、卒業生の1人、佐藤晶子さん〔新潟市東区〕は「この2年間、とても勉強になった。知らないことも講師の皆さんから深く、分かりやすく教えていただいたうえ、仲間づくりもできた。今後は『地域の茶の間』に加わり、お手伝いできることがあればしたいと思う」と話しました。

会場別の卒業生は新潟が89人、長岡が33人、上越が16人。最高齢は男性が新潟会場の86歳、女性も新潟会場の88歳でした。

今回の卒業生は、令和5年度に入学し、2年間学び

石上和男学長が全卒業生一人一人に修了証書を授与しました。

その後、新潟会場では石上学長は式辞として「2年間、学んで卒業する皆さんは今後、地域で活躍し、何らかの形で地域に還元して

シニアたちが学ぶ「シニアカレッジ新潟」の令和6年度卒業式が9月26日に新潟会場で、10月に入り15日に上越会場で、30日には長岡会場でそれぞれ行われました。3会場合わせて計138人が卒業しました。学ぶ意欲を満たして晴れやかな表情の卒業生たちは人生の新たな舞台へ歩み出しました。

卒業式は新潟会場が新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区）で、上越会場が高陽荘（上越市西城町）で、長岡会場がアトリウム長岡（長岡市弓町）で行われました。高陽荘は今秋で閉館したため、上越の会場となるのは今年度が最後となりました。

ほしい。大いに期待している」と、はなむけの言葉を贈りました。

卒業式に先立ち石上学長

は「地域共生社会を実現するため」と題し、卒業生に特別講義を行いました〔5ページに掲載〕。



会場の卒業生 思い出に級友と記念写真=9月26日

# 地域還元へ活躍期待

## 新たな門出 石上学長が激励

## あの授業この講義 プレイバック

(講義名は省略です)



「他の国文化にふれる～韓国」



「障がい者の『働く』どう可能になったか」



「転倒予防、認知症防ぐエクササイズ」



「高齢者のストレスと予防・対策」

長岡の3会場での卒業式の前に「地域共生社会を実現するために」と題した特別講義を行いました。新潟会場での特別講義の要旨は次の通り。

シニアカレッジ新潟の石上和男学長は新潟、上越、長岡の3会場での卒業式の前に「地域共生社会を実現するために」と題した特別講義を行いました。新潟会場での特別講義の要旨は次の通り。

X

X

一、地域の住民が気軽に集う「茶の間」「サロン」などの「通いの場」は新潟市の河田珪子さん（シニアカレッジ新潟副学長）が提唱し全国に広まった。

一、私が教壇に立つ新潟医療福祉大学の学生たちが、胎内市の中条、築地、乙、黒川の4地区にある茶の間やサロン計15カ所の利用者、約180人にアンケート調査を実施した。

一、こうしたことから、茶の間やサロンへ通い、活動するのは地域づくりだと言える。

## 茶の間へ通い活動 地域づくりの一環

一、茶の間・サロンの課題について「地域との交流」を挙げる回答が多く、茶の間で何か面白いイベントをするれば人も集まつてくるとみられる。



卒業生へ特別講義を行う石上學長

一、茶の間やサロンにきたきっかけは「知人・友人に勧められて」が圧倒的で、通り続けて「5年以上」が最も多い。

一、通り続ける理由について「人に会える」「健康にいい」以上に「自己実現のため」「自尊心を感じられる」が多かった。



## シニアカレッジ 卒業生の声 (要旨抜粋)

充実した2年間だった。  
(新潟)

すばらしい仲間ができた。  
(新潟)

前向きな人が多く、触発された。  
(新潟)

毎回、参加するのが楽しかった。  
(新潟)

講師の話に引き込まれた。  
(新潟)

講義で得たことをどう生かせるか、考えたい。  
(新潟)

防災士を目指そうかな。  
(新潟)

楽しかった。  
(新潟)

講義を生かした資格を取り、地域貢献したい。  
(新潟)

視野を広げることができた。  
(新潟)

これで終了は残念。  
(新潟)

「法律」から「健康」まで広く学べた。  
(新潟)

自分が何をしたいのか？まだ模索中。  
(上越)

2年間、ありがとう。  
(上越)

学んだ以上に、人とつながりができて良かった。  
(長岡)

社会に役立つシニア世代になりたい。  
(長岡)

電子機器を用いた競技ゲーム「eスポーツ」。新たな交流促進や生きがいづくりに活用されています。eスポーツ文化の普及を目指す「長岡eスポーツクラブ」代表の島田泰維さんと、高齢者のeスポーツ体験を支援する長岡市福祉保健部健康増進課にお聞きしました。



いきいき

# eスポーツ 気軽に楽しく

今回のテーマ

けんこうおうえんだん



## 教えてくれた人

長岡eスポーツクラブ代表  
しま だいたいすけ  
**島田 泰維**さん

島田泰維さん(40歳)。長岡市出身。20年以上前からオンラインゲームが好きで、数年前からeスポーツ大会にも出場。現在は米店を営む傍ら、子どもたちのeスポーツ活動を応援したいと、2022年に「長岡eスポーツクラブ」を立ち上げ。ゲームを通した居場所やコミュニティづくりにも尽力、小中学生を対象にしたeスポーツ少年団も運営している。(長岡eスポーツクラブ=長岡市台町1-3-13=)

Q

## eスポーツとは?

A

「エレクトロニック・スポーツ」の略です。広義ではコンピューターやスマートフォン、ゲーム機など、電子機器を使って楽しむ娯楽や競技全般を指します。

「eスポーツ」は、つまり「ゲーム」のことなのですが、なぜ「スポーツ」というのか、不思議に思う方もいるでしょう。欧米では「スポーツ」という言葉は、単なる運動競技だけでなく、家族や友人と一緒に楽しむ活動や娯楽のニュアンスでも使われています。一方で電子機器を用いた「ゲーム」は、戦略性や反射神経、時にはチームワークなど、スポーツと類似する要素を持ち合わせています。eスポーツはスポーツの広義的な解釈と、ゲームの競技性が相まったものと捉えています。

座ったままコントローラーのボタンを操作するゲームや、体の数力所にセンサーをつけてVRゴーグルをかぶり、仮想現実を体験しながら全身を動かしたりするゲームなどいろいろありますが、すべてeスポーツと呼ばれています。

日本では、1970年代から80年代にかけてゲームセンターや家庭用ゲーム機が普及しましたが、「ゲームばかりして勉強をしない」など、ゲームには少なからずネガティブなイメージがありました。やがてインターネットが普及し、2000年代に入つてから「eスポーツ」という言葉が使われ始めます。ゲームの競技性に、より焦点が当たり、世界各地でオンラインゲーム大会が開催されるようになりました。日本でも2018年にeスポーツの普及と発展を目指すeスポーツ連盟が設立され、今では教育や福祉、地域づくりでの活用も広がっています。



高性能なゲーミングパソコンが充実している「長岡eスポーツクラブ」の施設内。若者を中心に子どもから高齢者までゲームを通じた交流を楽しんでいる



## eスポーツのメリットはなんですか？



**年齢、性別、国籍、身体のハンディキャップを問わず誰でも楽しむことができ、リアルでもオンラインでも、対戦や観戦を通して多様な交流が生まれます。**

運動能力や体力に関係なく、誰でも参加できます。多くのゲームは初心者でも分かりやすい操作方法を採用しており、家庭用ゲーム機器のコントローラーは小型の軽量で、子どもも持ちやすく設計されています。太鼓のぼり型やハンドル型のコントローラーなどは、より操作しやすく、リアルな体験を味わえるでしょう。

オンライン上に自分の分身を置いてプレイするので、匿名性が高く、安心して参加できるのも人気の理由です。私は「みつる」というゲーム名で参加していて、全国各地に年齢も職業もさまざまなオンラインゲーム仲間がたくさんいます。偶然、同じ時間に参加したおじいさん世代と孫世代が一緒にプレイしたり、海外のプレイヤーと対戦を重ねるうち、簡単な外国語が身に付いたりといった話もよくあります。eスポーツはさまざまな壁を超えて、人と人をつないでいるのです。

近年、60歳以上のプレイヤーで構成されたeスポーツのシニアプロチームが、プレイ中の動画配信をしてSNSで話題を呼んでいます。第二の人生を別次元の自分になって真剣勝負で楽しんでいる姿に、ファンも盛り上がっています。eスポーツは五輪競技としての採用も検討され、市場規模も拡大しているので、地域に活力を生み出すツールとしても期待されています。



ゲームのコントーラーはさまざま



## シニア世代がeスポーツをする時に気を付けることは？



**つい夢中になって長時間プレイすることは避け、休憩を取りましょう。  
オンラインゲーム内では知らないうちに課金しないよう注意しましょう。**

過度なプレイが日常生活や健康に悪影響を及ぼしては元も子もありません。長時間同じ姿勢でいることは避けて、小まめな休憩や水分補給を行うなど、無理のない範囲で楽しみましょう。

また、「無料」と表示されているゲームでも、プレイを進めると課金を促される場合があります。課金をせずにプレイできるゲームもたくさんあります。クレジットカード情報の管理には十分気を付け、不安を感じたら、家族や信頼できる人に相談してください。



プレイ前に軽く準備体操を行う=長岡市主催のeスポーツ体験会



疲れにくいゲーミングチェア

### 自治体の取り組み例 <長岡市>

#### リズムゲームにチャレンジ！ eスポーツ体験会

長岡市では、eスポーツを高齢者の交流や生きがいづくりにつなげようと、昨年度からリズムゲーム「太鼓の達人」の体験会を開催。会員登録すると一定期間継続でき、対抗戦などイベントも盛り込みます。軽い準備体操のあと、休憩に配慮しながらゆっくり丁寧に進めています。曲に合わせ、画面を見ながら楽しそうに太鼓をたたく参加者たち。「孫との話題ができるうれしい」という声も聞かれ、手応えを感じています。

問 0258-39-7508 長岡市福祉保健部健康増進課



eスポーツ体験会の様子=高齢者センターみやうち



# 赤い羽根 情報



寄付したコーブデリにいがたの登坂康史理事長（左から3人目）。右隣は県共募の佐藤明会長

生活協同組合「コーブデリにいがた」（新潟市中央区）が組合員への「はがき・切手回収キャンペーん」で集めた募金274万3862円を10月24日、新潟県共同募金会へ寄付しました。

このキャンペーンは今年1月から5月に、未使用のはがきや切手、商品券などを組合員から募集。それらを換金して、県共募に寄付しており、今年で3年目です。寄付金を受け取る県共募は、貧困などに苦しむ子

## コーブデリにいがた 未使用切手など回収 274万を県共募へ寄付

式では、コーブデリにいがたの登坂康史理事長が県共募の佐藤明会長に寄付金目録を手渡しました。

どもたちを支援する団体へ助成しています。

新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで行われた贈呈式では、コーブデリにいがたの登坂康史理事長が県共募の佐藤明会長に寄付金目録を手渡しました。

式では、コーブデリにいがたの登坂康史理事長が県共募の佐藤明会長に寄付金目録を手渡しました。

感謝状を受け取った登坂理事長は「寄付額が少しでも多くなるよう、経費のかかる回収封筒を組合員から手作りしてもらった。そんな工夫を来年も続けたい」とおっしゃいました。

佐藤会長は「社会的に孤立している人や子ども食堂の支援などに有効に使いたい」とおっしゃいました。

**NHK歳末たすけあい**  
—31日まで—  
—25日まで—

募金活動へ、皆様の温かいご協力をお願いします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

商品パンフレットは  
**コチラから**  
(ふくしの保険ホームページ)



## ボランティア活動保険

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

### 保険金額・年間保険料（1名あたり）

团体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術	65,000円	
	保険金	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	特定感染症	補償開始日から補償(*)	
の賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	X	○
	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。



### ボランティア行事用保険

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

### 送迎サービス補償

（傷害保険）

### 福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

### 団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

（引受け幹事）損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に結ぶ団体契約です。

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

（SJ23-11315より抜粋）

# 地域福祉の充実と向上目指し

希六・県社協会長 第74回「新潟県民福祉大会」の開会あいさつをする竹内



## 「県民福祉大会」 新発田で第74回

# 全県から800人参加、盛大に 功労の個人団体など表彰

第74回「新潟県民福祉大会」が10月29日、新発田市の市民文化会館で開かれました。県内各地から福祉や行政の関係者など、約800人が参加し、感染禍以前とほぼ同様、盛大な大会となりました。

「母子及び父子並びに寡婦福祉法施行60周年」を記念した大会は県と県社会福祉協議会、県共同募金会、新発田市と市社協が主催。



県知事表彰される、新発田市の大川原さとみさん。  
式典最後に、被表彰者を代表し謝辞を述べた

題となっており、県社協も地域共生社会の実現へ目指した活動に取り組んでいくたい」と述べました。

続いて、大会名誉会長の花角英世県知事のあいさつを、鈴木康之副知事が代読しました。

この後は表彰式。県知事

表彰には民生委員・児童委員、社会福祉事業などの26人と1団体、里親1夫妻が選ばれ、代表して新発田市



県社協会長表彰を受ける、胎内市の高橋雅慶さん

第2部は神奈川歯科大学の榎木恵一副学長が「唾液力を鍛えて健康な毎日を」と題し記念講演しました。



県共募会長表彰を受ける、胎内市の速水義則さん

の民生委員・児童委員、大川原さとみさんが壇上で表彰状を受け取りました。

続く県社協会長表彰に21人と14団体、県共募会長表彰には50人と8地区・団体、さらに2校が選ばれ、いずれも代表が壇上で表彰状を授与されました。

最後に、表彰された人や団体を代表して、県知事表彰の大川原さんが「受賞を機に、地域福祉のさらなる発展のため、一層の努力を重ねていきたい」と謝辞を述べました。

# —共生社会へのヒント 求めて

新潟

福祉・介護・健康フェア2024

## モノなし生活、本当の自由

元新聞記者

稻垣えみ子さん



歌手・女優

堀ちえみさん



長寿高齢社会に欠かせず、時代のかぎとされる「地域共生社会づくり」について考えるイベント「福祉・介護・健康フェア2024 in 新潟」が11月9日、新潟市中央区内で、翌10日には上越

## 家族に支えられ励まされ

新潟会場のメインステー

ジには歌手で女優の堀ちえみさん、朝日新聞元記者の稻垣えみ子さんら4人が招かれました。

堀さんは「ステージIVの舌がんを乗り越えて」と題

して講演。2019年に舌がんと診断され、治療方法の選択にも悩んだ末、娘の思いを受け入れ手術を決断しました。「舌の6割を切除し、その後、发声トレーニングなどを重ね、ステージにも復帰できた」と家族に励まされた日々を、涙ながらに紹介。「病気になれ

ば本人も家族も大変。早期の発見治療に努めて」と繰り返し訴えました。

朝日新聞元記者で、アフ

タバ本人も家族も大変。早期の発見治療に努めて」と繰り返し訴えました。



大入りの満席となり、立ち見客が続出したメインステージの講演会(写真左)。「さとり縫り」体験会(写真右①)と、にぎわった「農福マルシェ」(写真右②)

新潟会場は「災害時の薬」「高齢者見守りシステム」「がん治療の進化」など、講座やセミナーが一段と充実。専門職が参加者に分かりやすく解説しました。

また、福祉事業所の物品販売のほか、こどもの職業体験コーナー、農福マルシェ、大抽選会なども終日、にぎわいました。

市と長岡市でもそれぞれ、開かれました。3会場とも秋の澄み切った青空が広がる好天に恵まれ、地域共生社会づくりのヒントとなりそうな、多彩で様々な催しが繰り広げられた会場は一般市民や福祉、行政などの関係者でにぎわいました。3会場とも、新潟日報社と県社会福祉協議会、開催地の市社会福祉協議会が主催しました。

ロヘアで知られる稻垣さんは「自分で決める幸せの力タチ」のテーマで講演。東北大震災の原発事故を経て裕福な暮らしに疑問を抱き、50歳の時に退職。高級マンションから、古いワンルームへ引っ越し、電化製品や家財道具、衣類、書籍などを処分して始めた新生生活を紹介。「本当の自由とは何もなくても生活し、動き回れることだ」と、モノに縛られない生き方の快適さを強調しました。

猪又副病院長は「いのちを守る、あなたの心臓、丈夫ですか?」のテーマで講演しました。

上越

福祉・介護・健康フェア2024

お笑い芸人・エッセイスト  
にしおかすみこさん



クシヨーに臨  
みました。  
にしおかさ

んが「ポンコ  
ツ一家」と表  
現する家族は  
母と姉、父、  
自分で、それ

ぞれ「認知  
症、ダウン症、  
酔っ払い、元  
SMの一発屋  
の女芸人」と

めている。病んでしまえば  
誰も幸せにできないから」

と語りました。

会場内では、市内の福祉  
事業所がお菓子や野菜、み  
そ、鉢植えの花などを販売  
してにぎわいました。さら

めている。病んでしまえば  
誰も幸せにできないから」

と語りました。

## 出会いいや学び

## 多彩に楽しむ

に、生卵の「詰め放題」や  
マジックハンドを使った  
「野菜のつかみ取り」にも  
チャレンジする行列がで  
き、好評でした。このほか、

災害時の避難所で役立つ  
「メディアぷらっと」でも  
マジックハンドを使つた  
「野菜のつかみ取り」にも  
チャレンジする行列がで  
き、好評でした。このほか、

民らが「食生活改善」「成年  
後見」「認知症サポーター」  
養成について学びました。

セミナーも開講され、市  
心臓マッサージに真剣な表  
情で挑戦していました。

子どもたちが白衣をまとい、  
心臓マッサージに真剣な表  
情で挑戦していました。

「ポリ袋を使うクッキング」  
も関心を集めました。  
看護師体験コーナーでは、  
子どもたちが白衣をまとい、  
心臓マッサージに真剣な表  
情で挑戦していました。

セミナーも開講され、市  
心臓マッサージに真剣な表  
情で挑戦していました。

### 長岡

### 家族信託や 認知症など

セミナーで市民ら学ぶ

11月10日の「福祉・介護・  
健康フェア in 長岡」は長  
岡市の新潟日報長岡支社  
「メディアぷらっと」でセ

ミナーイベントを開催しま  
した。開催されたセミナー  
は「認知症の基礎知識」「家  
族信託ってなに?」「任意後  
見との違い」「終活に役立  
てる相続・相続税」です。

3セミナーとも専門医や  
司法書士、公認会計士の専  
門職が講師で、市民らに分  
かりやすく解説しました。

家族信託ってなに?  
任意後見との違いは  
何?終活に役立てる  
相続・相続税とは?

11月10日の「福祉・介護・  
健康フェア in 上越」は上  
越市の高田城址公園オーレ  
ンプラザで開かれました。

メインステージではお笑  
い芸人でエッセイスト、に  
しおかすみこさんが「ポン  
コツ一家の生活—私の家族  
と私も知りたい介護の話  
ー」と題し、司会者とのトー

クシヨーに臨  
みました。  
にしおかさ  
んが「ポンコ  
ツ一家」と表  
現する家族は  
母と姉、父、  
自分で、それ

ぞれ「認知  
症、ダウン症、  
酔っ払い、元  
SMの一発屋  
の女芸人」と

めている。病んでしまえば  
誰も幸せにできないから」

と語りました。



「終活に役立てる相続・相続税」セミナー



「家族信託 任意後見との違い」セミナー



助成金贈呈を終え記念撮影する生命保険協会県協会の役員らと寄付を受けた団体の代表ら

（会長・古賀生治明治安田生命新潟支社長）が11月11日、県内の団体やボランティアグループなどに備品購入費や物品など総額280万円余りを寄付しました。

生保協県協会は、県内に支社などのある生命保険22社で構成。約5500人の全従業員に募金を呼び掛けました。

この日 新潟市中央区の新潟グランドホテルで行われた贈呈式には、寄付を受けるボランティア8団体を

代表して「濁川緑の田園研究会虹いろの会」や、村上市社会福祉協議会、新潟県障害者交流センター、新潟県中央福祉相談センターなどの代表が出席しました。

最初に、県生保協の古賀

## 生保県協会

**備品購入費や物品  
福祉に280万円寄付**

### 村上市社協には車両1台

け、それを原資に毎年、社会貢献活動として助成と支援を続けています。

今年度、寄付するのは備品購入費のほか、物品とし

ては村上市社会福祉協議会への福祉巡回車1台をは

じめ、自動体外式除細動器（AED）、シャワー用車い

す、安心ネット付き大型扇風機、ジュニアチャイルドシートなどです。



村上市社協へ贈られる福祉巡回車の前で記念撮影

**真心を今年もありがとう**

会長が「安心安全なまちづくりに貢献したいと令和6年度の寄付を決めました」とあいさつしました。

この後、目録を手にした各代表が1人ずつ、マイクを握り「寄付はとても励みになる。ボランティア活動へ一層の貢献をしたい」「備品が経年劣化しており、たいへんに助かります」などと、お礼を述べました。

また、県社会福祉協議会の竹内希六会長が古賀会長に感謝状を贈りました。

この後、ホテル正面に移動。村上市社協へ贈られる新車の前で関係者が記念写真を撮りました。



訂正 福祉にいがた11月号12ページ「社会協会長研修」の記事で「ohnana」が「沖縄で家族の意味」とあるのは「ハワイで」の誤りでした。

パレット新潟店営業日						
2024年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

営業時間 11:30～16:30 ■…は休業日

福祉の店  
**パレット情報**

編集後記

師走を迎えた。じきに新年。また、年を取る。うれしくない。でもこの頃に少しだけ楽しみもある。音楽は門外漢なれど、大晦日にダンス曲「ボレロ」が耳に心地よい。YouTubeで聴く。天才と呼ばれたフランスのバレリーナが日本の大晦日のカウントダウンに合わせてボレロを踊って以来、年が似合う曲になったと勝手に思っている。仏人モーリス・ラベルが作曲したボレロは、

われわれも同じように単調な日々を繰り返す日々に生きている。人生よ、汝の名はワンパターン。大勢を魅了してやまないのか。1つの楽器の奏を重ね、最後にはオーケストラ全体で壮大に奏で終える。われわれも同じように単調な日々を繰り返す日々に人生の終焉で、莊厳なフィナーレに化けたらしいのに。